

令和6年度 第4回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2024年（令和6年）12月20日（金） 10：00～12：00

2. 場所：市役所5階第3会議室

3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）（曾志、江連）

小坪小学校区住民自治協議会（豊角、吉田、原田）

池子小学校区住民自治協議会（斎藤、齊藤、青野）

久木小学校区住民自治協議会（山崎、石井、長嶋）

※敬称略

地域担当職員リーダー（雲林隆継教育部次長、西海隆総務部次長、堀田昌希福祉部次長）

防災安全課（相澤隆課長補佐、小西広太郎主事、岡本康佑主事、）

市民協働部（岩佐正朗部長、新倉良枝次長、小野田和幸係長、北村亜生主事補）

4. 議事

1. 防犯対策について
2. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
3. その他

議事1 「防犯対策について」 逗子警察生活安全課 佐々野 様

現在の犯罪の発生状況について報告

- ・県内の犯罪発生状況
特殊詐欺 11月末現在、1749件 51億5300万円
還付詐欺、投資詐欺、ロマンス詐欺（中でもSNS型投資詐欺が増えている）
- ・自転車泥棒増。前年度比70%UP 逗子の花火大会後くらいから増。
- ・空き巣が少し増えている6件（1月～11月）…昨年より増えている。
- ・悪質な訪問販売、盗撮、交通事故、行方不明者などの状況報告
- ・警察の力だけだと限界があるので、皆さんのちょっとしたながら運動をしてもらうことで逗子が静かな平和なまちとなるようにしていただきたい。

（久木）

- ・人口当りの割合、ターゲットになりやすい、狙われやすい傾向は。

(警察)

- ・特にないが、NTT の電話帳の上から順に連絡していつている。逗子市では久木ハイランドがポイント的には一番狙われやすい。

(小坪)

- ・強盗事件(強盗殺人)について、どこまで自己防衛ができるか、過剰防衛、正当防衛の境は。

(警察)

- ・住居侵入など身の危険の対処は正当防衛となるが、やりすぎはよくない。まずは入らせないこと。対策が必要である。5 分以上かかると犯人は諦めるが、110 番 10 ～15 分かかると考えている。防犯カメラなども有効である。

(防災安全課)

- ・防犯カメラの補助金について、自治会・町内会・マンション・自治会館に設置する場合など助成対象となる。例年 6 月通知、8 月交付決定通知という流れとなる。

(沼間)

- ・アザリエは 4 台で 200 万円(購入額+メンテナンスもかかる)また取替は対象外であることから助成対象になるよう検討してほしい。

(小坪)

- ・亀が岡自治会で 10 台設置、寿命 5 年間なので、交換に関しても検討してほしい。

(防災安全課)

- ・逗子市ではまだ台数が少ないため、まずは新設の助成と考えている。しかしながら、新設が増えれば更新台数が増えていくことから、更新についての助成についても検討していきたい。

議事 2 各住民自治協議会の活動に関する意見交換

(久木)

- ・在宅避難者を含めた避難訓練、携帯が使えない想定で無線機を利用した。
- ・久木中学校のバザーと日程が重なり、参加者は少なく、Web アンケート実施したが、回答も少なく、100 名ほどであった。(久木地区は 1 万人程度。)

(小坪)

- ・12/8 に防災訓練を行った。地区防災拠点に関われるかどうかの観点で参加したが、被害状況がタイムリーに防災拠点に伝わらない。無線なのか、紙で行うのかなどを訓練の中で盛り込んでほしかった。また激甚災害の時などの自衛隊、県消防など骨太の方針を示してほしい。

(池子)

- ・10/20 に防災訓練を行った。市民まつりと同日だったため、次回は日程の考慮をお願いしたい。訓練はもとより、日頃から自主防、避難所運営委員会、住民協の連携が重要と考えている。
- ・Web アンケートの名称が任意ととられる可能性があるので、名称変更してはいいか。(防災安全課にて検討する。)

(沼間)

- ・10/26 に沼間中学校で防災訓練を行った。住民協として地区防災拠点に参加したが、市の職員はいたが、住民協としては訓練で行う事がなかった。
- ・訓練参加者も少なく、Web アンケートは 20 人程度であった。
- ・今のメンバーではすべての避難所を運営することは難しい。避難所としての機能を把握していきたい。

(防災安全課)

- ・地区防災拠点の訓練は今年度はじめて実施した。今回の訓練結果や各地区の皆さまの意見を踏まえ、各団体と連携をとれるような内容になるよう検討していきたい。

議事 3 その他

(特になし)